



会社はどうしても 「ストライキ(争議)組合」にしたいのか!?

会社は、闘申1号団体交渉で「所定昇給額を算出基礎とすることにこだわることはしない」と回答し、17春闘時において確認した3点の内容を労使合意したにも関わらず「ベアに関して、所定昇給額を算出する根拠に必ずしもこだわらないということは、昨年から会社が主張してきたことであり、当日の団体交渉で溝は一切埋まっておらず、認識一致が図られていない」とウソ、偽りで混乱を煽り立てています。

私たちは、申13号交渉で「将来、未来の議論となり、18春闘におけるベア実施のあり方、考え方すら示されなかった」ので、いわゆる「昨年と同じく(所定昇給額を算出基礎とすることにこだわるものではない。17春闘においては「定額」とする)回答を示すべきだ」と繰り返し主張していただけです。

さらに「団体交渉は終わっておらず、26日(月)に2回目を予定しています」と主張していますが、**私たちの求めていた、ささやかな要求があたかも実現していないかのように描き出し、団体交渉での更なる対立を煽り立てています。**

そもそも会社は、団体交渉を先延ばししていました。そして、ようやく団体交渉を開催し、会社回答を示し、合意したにも関わらず、認識が一致していないと、混乱を助長させています。労働組合は、要求が実現すれば、要求を実現するための闘争指令、闘争を解除するのは当たり前です。

私たちは、組合員のために要求実現を目的に、そのための手段として戦術を組み立てているのです。

会社はウソと偽りで職場を 混乱させることを今すぐ止めるべきだ!

私たちは、
会社は、
みんなで安心して働きたいだけだ!
今すぐウソをつくのやめなさい!

JR東労組 東京地本 で 検索 もしくは 上記QRコード よりアクセス!

ホームページで皆さんの声をお寄せください!